

春季全国火災予防運動

令和2年3月1日～3月7日

●1日あたり**104**件の火災が発生しています！
全国で約14分に1件の火災が発生している計算となります。

●1日あたりの火災による死者数は**3.9**人！
平成30年中の火災による死者の総数は1年間で1,427人でした。

●出火原因第1位**たばこ**、第2位**たき火**！
出雲市内でも「たき火」や「くよし」が火災に拡大したものが多く発生しています。

平成30年(1～12月)の火災の状況 総務省消防庁(報道資料)

春は目前です！残った灯油は使い切るか、適切に廃棄しましょう。

残って劣化した灯油は、暖房器具の故障を招くため、火災の危険性を高めます。

2019年中出雲市では44件の火災が発生しました。



火災気象通報の基準が変わりました！

令和2年1月23日改正
松江地方気象台

旧
・実効湿度60%以上
最低湿度40%以下
・最大風速15m以上(10分計測)

新
・乾燥注意報
・強風注意報
・乾燥及び強風注意報

※降雨、降雪が予想される場合を除く。

火災気象通報発令中は、火の取扱いを控えましょう。

出雲市消防本部 少年女性防火委員会へ 映像資機材を配備

出雲市消防本部少年女性防火委員会(会長 平井孝弥 消防長)は(一財)自治総合センターの宝くじ助成事業により、プロジェクターおよびスクリーンを購入し、配備しました。

すでに今年度の幼年・少年消防クラブ、女性防火・防災クラブ指導者研修会でも活用しており、今後も様々な場面で活躍が見込まれます。



お尋ねは 代表 (電話 21-2119) (FAX21-8241)

- 消防総務課 (電話 21-6920)
- 予 防 課 (電話 21-6921)
- 警 防 課 (電話 21-6923)
- 指 令 課 (電話 21-6924)
- 出雲消防署 (電話 21-6926)
- 佐田分署 (電話 84-0915)
- 出雲西消防署 (電話 43-8119)
- 多 伎 分 署 (電話 86-2149)
- 平田消防署 (電話 63-5519)
- 大社消防署 (電話 53-2373)
- 斐川消防署 (電話 72-0800)

災害案内(電話 23-0119) 出雲市消防本部ホームページ <http://www.izumo119.or.jp/>



ひまわり No.30

消防広報 令和2年(2020)2月20日

編集・発行 出雲市消防本部 消防総務課
TEL:(0853)21-2119(代)
e-mail:soumu@izumo119.or.jp

2019年度全国統一防火標語

ひとつずつ
いいね!で確認 火の用心



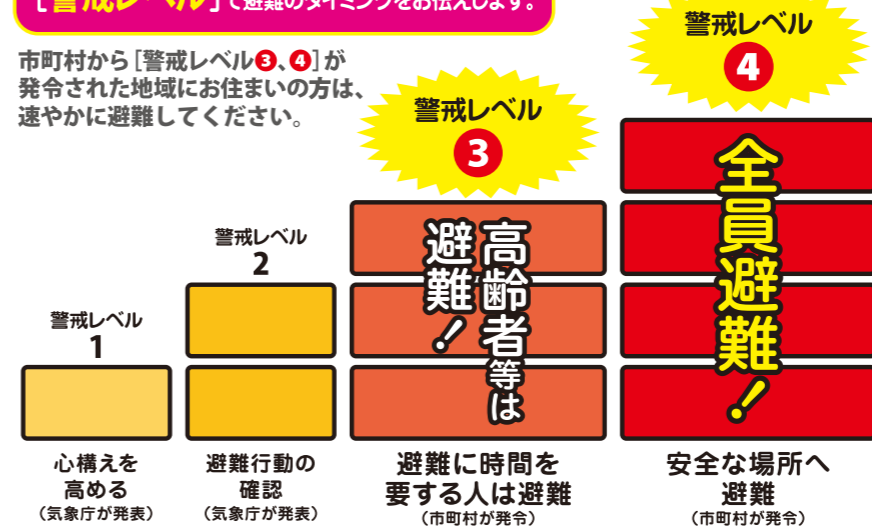
災害

過去の教訓を
活かす

『平成18年7月豪雨災害』

※山陰地方を中心に梅雨前線が停滞、総雨量は観測史上4番目となる豪雨となった。

【警戒レベル】で避難のタイミングをお伝えします。



【警戒レベル⑤】(市町村が発令)は既に災害が発生している状況です。



逃げ遅れ
ゼロへ!!



※内閣府(防災担当)・消防庁資料より

非常用持ち出し品

チェックリスト

- 笛、ホイッスル
- 現金
(公衆電話用に10円、100円玉)
- 非常持ち出し袋
(リュックや背負える袋タイプのもの)
- 飲料水
(1人1.5L程度)
- 非常食
(乾パン、缶詰など、そのまま食べられるもの)
- ヘルメット
- 手袋
- 運動靴
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 万能ナイフ
- ロープ
- 救急用品セット
- 雨具
- 予備の電池
- その他：身分証明書、筆記用具、マスク、ウェットティッシュ、常備薬、使い捨てカイロ、タオル、ポリ袋、防寒シートなど



非常用持ち出し品のほとんどがホームセンターなどで購入できます。



近年、自然災害等が増えています。自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すべきものをあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

中国・四国ブロック緊急消防援助隊 合同訓練に参加しました

緊急消防援助隊とは、1995年(平成7年)1月に発生した阪神・淡路大震災を教訓に平成7年6月に創設され、東日本大震災や熊本地震、豪雨災害等の大規模災害に出動しています。創設以降、全国を6ブロックに分け、消火・救助技術や指揮・連携活動能力等の向上を図るため、毎年合同訓練を実施しています。

今年度の合同訓練は、高知県内における大規模地震の発生を想定し、11月30日と12月1日の2日間にわたり実施されました。

出雲市消防本部からは、「消火小隊4名」、「救助小隊5名」が参加しました。



消防めし

いつ起こるかかわからない**大規模災害**。

近年、**緊急消防援助隊**の出動が増えています。そこで、土日の夕食は若手消防士が食事を作り、有事の際に炊き出しができるよう**災害に備えています**。今回は出雲西消防署多岐分署の夕食をお伝えします。



今日の料理長は**井筒副士長**。その大きな体に「食」は欠かせません。そして自他共に認める料理の腕前です。夕食の献立は**自前のフライパン**を使用した中華定食でした。何事にも備えが大切です。備えあれば憂いなし。

みなさん今一度非常食のご確認を!



ポテトサラダ
マーボー豆腐
からあげ
チャーハン



悪質な訪問販売業者に注意しましょう!

出雲市内において、消火器の悪質な訪問販売による被害が発生しています。女性や高齢者のお宅を訪問し、「消防署から来ました。」などと言って、巧みに売りつけようとしています。消防職員や消防団員が販売目的で個人宅に伺うことは絶対にありません。

2019年出雲市管内で発生した事例

不正取引の手口

- 法律が改正された。
- 一般家庭にも設置義務がある。
- すでに使用期限が切れている。
- 薬剤の詰め替えの義務がある。



事例1

「古い消火器を引き取りに来ました。」と訪れ、自宅に設置していたものと交換、新しい消火器の代金1万8千円を請求してきたため、現金を支払ってしまった。業者名を訪ねたが、「詳しい住所や電話番号は消火器に貼ってある。」と答え立ち去った。

事例2

「消防から来ました。」と告げ、消火器を販売しようとしたため、金額が妥当なものかわからず、「他へ相談してみる。」と伝えたところ立ち去った。

トラブル防止策

- 身分証明書、名刺等の提示を求めましょう。
- 一般家庭については消火器の**点検・設置義務はありません**。あやしいと感じたらはっきりと断りましょう。
- **不審に思ったらその場で消防署に電話してください。また、脅迫的な行動に出た場合は、警察へ通報しましょう。**



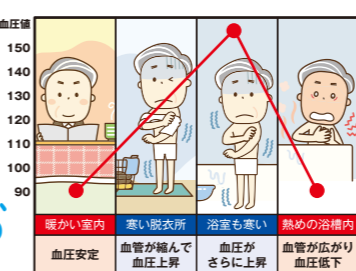
冬の寒さにひそむ危険 ヒートショックから身を守る!!

○ヒートショックとは

急激な温度変化により、血圧が大きく変動することで、失神や心筋梗塞、脳梗塞などを引き起こし、身体に悪影響を及ぼすことを言います。

○起こりやすい状況

冬場の冷え込んだトイレ
洗面室・浴室など、極端な温度差がある場所。



以下の項目に当てはまる方は、ヒートショックになりやすいので特に注意が必要です。

- 65歳以上
- 狭心症、心筋梗塞、脳出血、脳梗塞等の病歴がある
- 不整脈、高血圧、糖尿病などの持病がある
- 飲酒直後、食事直後に入浴する
- 浴室、脱衣所、トイレに暖房設備が無く、冬場は寒くなる



ヒートショックを予防するために!!

- 部屋間の温度差をなくす
- 食後1時間以上あけてから入浴する
- 入浴前と入浴後に水分補給をする
- お酒を飲むなら入浴後にする
- ゆっくりと身体をお湯の温度に慣れさせる
- 脱衣所や浴室に暖房器具を設ける

Net119の運用をはじめました!

Net119とは?

電話で119番通報ができない、聴覚や言語機能等に障がいのある方で、スマートフォン等からインターネットを利用して文字による119番通報を行うことができるサービスです。



対象者は? (*事前登録が必要です)

- 出雲市在住、在勤、在学の方
- 1 聴覚や言語機能等に障がいのある方
- 2 会話によるコミュニケーションが困難な方

Net119緊急通報システム



Net119のできることは?

かんたん操作で通報できます。チャット形式で通報でき、GPS機能を使用し位置情報を特定することが可能です。また、練習通報等もできます。



※詳細は、出雲市ホームページまたは出雲市消防本部ホームページをご確認ください。

【消防本部指令課】 電話：0853-21-6924 F A X：0853-21-6925
【市役所健康福祉部福祉推進課】 電話：0853-21-6959 F A X：0853-21-6598

メール：fukushi@city.izumo.shimane.jp